

いわみざわ市

# 緑の相談コーナーだより

室内公園 色彩館  
SHIKISAIKAN

岩見沢市志文町794

No. 353

2014年11月1日発行

いわみざわ公園バラ園 [www.iwamizawa-park.com](http://www.iwamizawa-park.com)



色彩館に咲く

## サザンカ

*Camellia sasanqua* Thumb. ex Murray

ツバキ科ツバキ属 原産国：日本

### 晩秋を彩る花

サザンカは、日本の西南地域に自生する常緑小高木で、樹高は7～10mほどになり、白色の花を10月～12月に咲かせます。江戸時代前期(1600年代)より多数の園芸品種が栽培され、花色は白色の他に桃色や紅、縁紅ぼかしなどがあり、桃色地や紅色地に白斑が入るものもあります。その他八重咲きのものなど、現存する品種数は約300に達するといわれています。

サザンカの自生品は、本州西南端の山口県、四国の西南部、九州北部から沖縄の西表島にかけて分布し、以前は屋久島以南のものはオキナワサザンカ(*C. miyagii* Koidz.)として区別されていたこともあったようですが、変異が連続してはっきり区切ることができないという理由で現在はサザンカに含まれています。



よくある質問に、「サザンカとヤブツバキはどうやって見分ければいいのか」というものがあります。サザンカは、葉の表と裏の主脈上と葉柄、若枝に短毛が生えています。対して無毛なのがヤブツバキです。また花にも違いがあり、花が終わるとバラバラと散るのがサザンカで、花首がコロンと一体に落ちるのがヤブツバキです。耐寒性もヤブツバキの方が強く、サザンカはZ8~11なのに対しヤブツバキはZ7~10となっています。東北以南では、生け垣として用いられるなど晩秋から道々に彩りを添えてくれるサザンカ、北海道の屋外で楽しむのは難しいですが、色彩館の大温室では今年は10月中旬から開花が始まり、11月は満開で楽しめそうです。2012年のリニューアル工事をガラス戸を開け放して行

ったのをきっかけに年々開花が早まっています。この調子だと、ヤブツバキの開花も早まってくるそうです。この開花の早まりはいつ落ち着くのか、今後興味深く観察していきたいと思います。

ちなみに、色彩館のサザンカは鮮やかなピンクの八重咲きの品種です。残念ながら品種名はわからないのですが、満開時は大変見事ですので、一見の価値あり！ですよ。

## 今月の便り

### バラ園

1月3日をもってバラ園は今シーズン閉園、色彩館にバトンタッチします。閉園後も作業はまだ続き、雪と競争しながら冬囲い作業です。閉園中も解放していますので、冬囲いの様子をのぞきにきてくださいね。



### 色彩館

大温室ではサザンカが咲いています。今月中旬からは満開で楽しめそうです。その他アベリア、ヒメイチゴノキが開花しています。皇帝ダリアに支柱をし始めました。これからどんどんやぐら状に大きくしていきます。2月頃の開花が今から楽しみです。

### 花と緑の供給センター

市内公園用の秋植えパンジーとピオラの出荷も終わり、来年に向けた球根の仕込みなどを行っています。息つく間もなく今度は来年の夏花の種子選び。来年どんな花を飾ろうかな！と、一番ワクワクする作業です。

### リサイクル

今年から本格的に始まったリサイクル事業。今は市内街路樹の夏剪定枝をチップにする作業に追われています。夏剪定枝は水分が多く分解が早いので堆肥にします。無添加で何度も切り返しをして十分発酵させた堆肥は園内や市内公園の土壌改良に使用します。今後何らかの形で皆さんのお手元にお届けできたらと作戦会議中です。

しゃっほーい！  
ドングリいっばいだぜー



今年9月22日、利根別原生林中央園地（東山・上志文町）付近遊歩道にてヒグマの糞が発見され、10月8日には利根別自然公園キャンプ場付近でも糞が発見されています。そのため「いわみざわ公園キャンプ場・トリムコース」及び「利根別自然公園」は現在も閉鎖中です。

**大変危険ですので絶対に立ち入らないでください！**

お問い合わせ

岩見沢市役所 農務課 林業畜産係 0126-23-4111（内線 262）

■ヒグマの出没情報に関すること 農務課 林業畜産係 内線 262

■公園利用に関すること 公園緑地環境課 公園緑地事業係 内線 353

ひとつき  
ひとバラ



文：新堂大樹  
(いわみざわ公園バラ園)

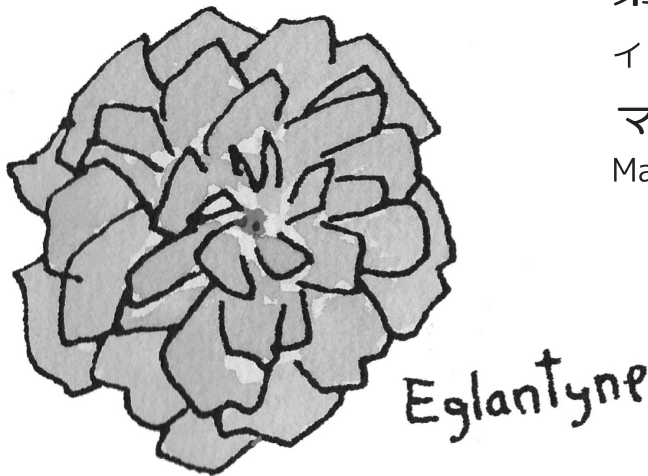
イラスト：藤川志朗  
(イラストレーター)

## 第八回

イングリッシュローズ/シュラブローズ

マサコ (=エグランタイン)

Masako (=Eglantyne)



作出国：イギリス  
作出者：デヴィット・オースチン  
作出年：1994年以前  
ハーディネスゾーン：Z5  
繰り返し咲き性  
交配：Seedling × Mary Rose®

イングリッシュローズの品種の一つで、愛らしいソフトピンクの花色で花芯にボタンアイを持った、大変香りの良い品種です。咲き始めは花びらの縁が反り返り、小さな花びらがギッシリ詰った浅い受け皿のようになります。中背の葉のよく茂る樹形で、耐寒性が強いのも魅力です。病気は多少出ますが、負けずにしっかりとよく咲きます。

イングリッシュローズは、イギリスの育種家であるデヴィット・オースチンが生み出した品種群で、オールドローズのクラシカルな花形や華やかな香りと、モダンローズのような鮮やかで多彩な色、繰り返し咲き性などの性質を併せ持つ品種を追求して育種されました。また、自然形の樹形は宿根草などの草花とあわせて植えると一層良さが引き立つので、世界中のガーデナーに愛されています。イングリッシュローズは系統として確立されつつありますが、大半がシュラブローズ(略号:S)に含まれます。

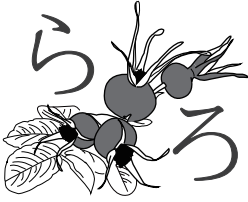
枝が弓なりになる樹形で、矮性から高性まで様々な品種があり半つる性になる系統です。また、近年は交配が複雑になり、系統を分類しきれないものをシュラブローズとする場合もあるようです。

「マサコ」の名前の由来は、皇太子の御成婚にちなんで雅子妃殿下に捧げられました。別名の「エグランタイン」は、第一次世界大戦中「セーブ・ザ・チルドレン基金」を設立したシャロップシャー州のエグランタイン・ジェップ女史(1876-1928)にちなんで名付けられました。

当園でもマサコは栽培しており、「雅子様のバラはどこですか？」という質問が多いです。やはり皇室の方の名前がついていると親しみがわきますよね。

今季のバラ園は11月3日をもって終了ですが、来年は是非「雅子様」のバラを見に来てください。場所が分からなければいつでも遠慮なく聞いてくださいね。

ば



ら  
ろぐ

岩見沢のような豪雪地では、雪解けが遅いため雪の中で枝が蒸れることがありますよね。そこで当バラ園では昨年、冬囲いのコモの素材比較実験をしました。藁ムシロ、PP袋、防風ネット、断熱シートの4種類。結果は断熱シートと防風ネットの圧勝で、この2素材は枝蒸れは全くなく、寒風害からの保護もほぼ完璧。コスト面でいくと防風ネットがオススメです。

ひとあし早くお知らせ



# クリスマス オカリナコンサート



今年もやりますよー!!



12/7(日)

14:00~15:00

会場: 色彩館 大温室

入場無料

オカリナ: 斉藤 かすみさん  
ピアノ: 家下 優子さん

13:00より  
温室入園無料

無料ー!

オカリナ  
ギター!

サンター!

イ・エ・ス!



## 11月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



- 11月2日(日) 13:00~15:00 インドアプランツを楽しもう  
無料 定員: 40名 講師: 椿豊さん Green Art 百々屋
- 11月16日(日) 13:00~15:00 折りバラを楽しもう 中級  
無料 定員: 15名 講師: バラ園スタッフ
- 11月23日(日) 13:00~15:00 ローズヒップでクリスマスリースをつくらう  
有料: 1000円 定員: 5名 講師: バラ園スタッフ
- 12月7日(日) 13:00~15:00 お正月のアレンジメント  
有料: 2000円 定員: 40名 講師: 伊藤とみ子さん 中央フラワー協会